

# 北海道新幹線開通までのジェイ・アール商事の取り組み

平成27年函館までの新幹線開通に向けて、現在も着々と工事が進んでいます。  
ここでは、当社北海道ジェイ・アール商事が、北海道新幹線開通までにどのように関わっているか、主な商材をピックアップして簡単にご紹介します。

平成17年度 工事着工

## 販売部門

平成19年度 「トンネルテンションバラサ(TTB)」の納入



線路の上を並行して通っている電線のようなものを見たことはあるでしょうか？それを通称して「架線」と呼びます。「テンションバラサ」は、その架線が緩まないように引っ張る装置であり、トンネル内に一定間隔に取り付けられています。

## 金融部門

平成20年3月 「TTB交換作業用電気車両車」の納入  
(リース物件)



暗いトンネル内に青い車両は同化してしまいそうですね。

左記のTTBを取り付ける作業をする車両です。北海道新幹線の青函トンネル内の工事は、新幹線工事史上初の試みとして在来線が横で走りながらの工事となりました。そこで必要となったのがこの車両で、在来線が走る隙を見計らってTTBを取り付けるのに役立っています。

平成20年4月 「ロングレール輸送車」の納入(リース物件)



その名の通り、長〜いレールを運びます。

新幹線のレールを運ぶ為の車両です。上で紹介したTTB交換車両同様、在来線と並行しての工事となった為必要な車両です。横を電車が行き来する関係で、トンネル内で少しずつ線路を延ばしていくことができない為、外部でつなげて長くなったレールを運んできて一気に取り付けます。

※平成23年11月 物件の使用終了に伴い、リース解約

平成23～24年度 「デジタルATC」の納入

ATCとは、自動列車制御装置のことを言い、電車の走行を制御する装置です。このデジタルATCには東北新幹線方式と東海道新幹線方式があり、それぞれ違うシステムを使用していますが、北海道新幹線は東北新幹線と繋がる為、東北方式が採用されます。

平成21年9月 「ケーブル延線台車」の納入 (リース物件)



この台車だけでは走ることができず、他の列車に引っ張ってもらいます。

電気や信号を通す為トンネルの中を通っているのが「ケーブル」。そのケーブルを運ぶ台車です。台車の上に、ケーブルを巻き付けるドラムが載っています。

平成23～24年度 「デジタル列車無線装置」の納入

列車無線装置とは、運輸の指令所と車両との交信をする装置です。

平成22年4月 「社員寮 一棟」の納入 (リース物件)



新幹線工事に従事するJR北海道社員の人のための為に、木古内に建てた社員寮です。新幹線工事は時期が限られているので、備品等も合わせてリース物件での納入となりました。

平成24年度 「分岐器」の納入 (予定)

分岐器とは、駅や車両基地にて線路を分岐させ車両の進路を選択する装置です。

平成27年 新函館駅まで新幹線開通！！